

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) アテツ石灰化工株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 7 1 9 - 2 5 5 1 岡山県新見市井倉 5 2 7 - 1	
本票作成	部署名： 技術課				
主たる業種	分類コード	21	業種名： 窯業・土石製品製造業		
事業の概要	生石灰の製造・加工				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	井倉工場		岡山県新見市井倉 5 2 7 - 1	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				
温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 5 年度)	(令和 6)年度排出量		目標年度(令和 6 年度)	
	24,046 t CO ₂		20,707 t CO ₂		23,806 t CO ₂
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		(令和 6)年度排出量	
	①	井倉工場		20,707 t CO ₂	
				t CO ₂	
				t CO ₂	
				t CO ₂	
				t CO ₂	
削減目標の達成状況	計画期間： 令和 6 年度 ～ 令和 6 年度 (1 箇年度)				
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(6)年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	△ 3.6 %	1.0 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達	
(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生石灰製品製造に要するエネルギーに伴って排出するCo ₂ を生石灰生産量で除した値		原単位当たり排出量		
			基準年度	(6)年度	目標年度
			401.017	415.560	397.007
			kg CO ₂ /(tCao)	kgCO ₂ /(tCao)	kgCO ₂ /(tCao)
(該当事業者のみ記入)					
ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和 6 年度)	達成率等	
【削減状況の自己評価】					
省エネ法の管理標準に基づき、エネルギー使用状況を把握しながら、省エネ対策に取り組んだ。 令和6年度は約2カ月間の炉修を実施したため、工場全体のエネルギー使用量が減少した事に伴いCO ₂ 排出量も減少したが、炉修開始までの期間は炉付帯設備の老朽化に伴い熱源単位は大幅に悪化した。					

【推進体制】

- ・省エネ法に基づくエネルギー管理体制のもと、エネルギー使用状況を確認している
- ・社長をエネルギー管理統括者とし、エネルギー企画推進者、エネルギー管理企画推進者を選任し省エネを推進
- ・日本石灰協会の一員としてカーボンニュートラル行動計画に参画

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
井倉工場	<p>(令和6年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排ガスファンインバーター化 CO₂削減量 220.0ton/年 (効果検証中) ・原石投入装置下蓋更新 CO₂削減量 442.5 ton/年 (効果検証中) ・インジェクターダンパ駆動モータ移設 CO₂削減量 481.2 ton/年 (効果検証中) <p>(今後実施予定分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①熱源単位の適正管理 (前年度比1%以上の改善) ②作動ファンインバーター化 (検討中) ③社有車のEV化推進 ④既設照明 (蛍光灯) を順次LEDへ更新

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

省エネ法による原油換算で、年1,500KL以上のエネルギーを使用する特定事業者該当するが、県の条例による温室効果ガス公表制度の要件「常時雇用する従業員が21名以上」から外れるため、非エネルギー起源によるCO₂(5.5ガス)発生量は報告しない。(エネルギー起源のCO₂のみ報告)